

会 議 録

会 議 名	第 64 回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会				
日 時	令和 4 年(2022 年)7月 26 日(火)	開始	午後 2 時 00 分	終了	午後 2 時 50 分
場 所	館清掃事業所 1階大会議室				
出席者	委 員	石井委員、今委員、加地委員、間嶋委員、来住野委員、天野委員、清水委員、安瀬委員、中村委員、上村委員 以上 10 名			
	事務局等	真辺資源循環部長、奈良ごみ減量対策課長、河内廃棄物対策課長、堂本清掃施設整備課長、森田ごみ総合相談センター所長、久保田戸吹清掃事業所長、平井館清掃事業所長、岡田戸吹クリーンセンター所長、熊澤北野清掃工場長 【ごみ減量対策課】白鳥主査、田代主査、前川主査、小楠主任、石川(伸)主任、小口主事、宮本主事、大神田主事、森田専門員 【清掃施設整備課】枝根課長補佐			
欠 席 者	齋藤委員、計委員、押山委員、大貫委員 以上 4 名				
議 題 等	1. 報告 令和 3 年度ごみ処理基本計画進捗状況について 2. その他				
公開・非公開の別	公開				
傍 聴 人	なし				
配 布 資 料	会議次第 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 席次表 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿 資料1-1 令和 3 年度ごみ処理基本計画進捗状況報告について 資料1-2 ごみ処理基本計画令和 3 年度進捗状況				

	<p>報告</p> <p>1. 令和3年度ごみ処理基本計画進捗状況について 【意見、質疑応答等】</p> <p>委員：木製の板等は、木の枝の日に排出できるか。</p> <p>市：排出できない。木の枝の日は、剪定された枝を長さ100cm×直径30cmまでにして、ひもで束ねたものを10束まで排出することができる。</p> <p>委員：年々減少傾向にあるCO₂排出量が令和3年度に増加しているが、その要因は何か。</p> <p>市：令和3年度のCO₂排出量増加の要因としては、工場での焼却時のプラスチックの割合が多かったことが考えられる。引き続きCO₂排出量削減に向けて取り組んでいく。</p> <p>委員：10月から稼働予定の館クリーンセンターは、市内の他工場と比べてCO₂を削減する整備が整っているのか。</p> <p>市：戸吹クリーンセンター等と同様に発電を行い、162t/日に対して、4,400kw/Hの電力をつくるため、CO₂の排出の削減に大きく寄与している。</p> <p>委員：水分を含んだごみの水や汚水はどのように処理されているのか。</p> <p>市：水や汚水は、工場で燃したり、再生したりして、直接外に排出するのではなく、綺麗な状態にしたうえで排出することを徹底している。</p> <p>委員：現在コロナ禍でイベント等の開催が難しいが、コロナが収束するのを待つのではなくて、オンライン等を活用し、新しい生活様式にあった啓発をしてほしい。</p> <p>市：今後事業系・家庭系を問わず、動画を活用した啓発を行っていく等コロナ禍でもできる取組方法を模索して移行していかなければならないと考えている。</p> <p>委員：資源集団回収の利用団体がコロナ禍で減少し、回収量も減少している。市でも何か対策をしてもらえないか。</p> <p>市：資源集団回収の利用団体に対して、利用条件を緩和する等、市としても資源回収の利用をしやすいとできればと考えている。</p>
--	--

	<p>委員： ジモティーの事業では、どのようなものが出品されたのか。</p> <p>市： 家具や家電、ベビーカー、衣装ケース、ゲーミングチェア等、145 品出品した。そのうち 139 品が引き渡され、約 96%のリユース率となった。今年度も同様の事業の実施に向けて調整している。事業の詳細は決まり次第、広報にてお知らせしていく。</p> <p>委員： 木の枝を資源化することで、どの程度CO₂の削減につながると考えているのか。</p> <p>市： 収集と持込併せて年間 900～1,000t を見込んでおり、リサイクル率でみると 0.5%削減効果があると想定している。CO₂の削減量については、今後試算していきたいと考えている。</p> <p>委員： 10 月から館クリーンセンターが稼働するので、小学校に積極的にアピールして、環境学習拠点として有効活用して欲しい。</p> <p>市： ごみの減量・資源化について学べるコンテンツを用意し、小学生達が楽しく工場見学をすることができるようにしている。</p> <p>委員： 小・中学校からの工場見学の申込みは、教育委員会にするのか。</p> <p>市： 小・中学校から直接清掃工場に依頼すれば、見学できる。</p> <p>委員： 粗大ごみの対象を教えてください。</p> <p>市： 袋に入りきらないものまたは、1 つあたりの重さが 5 kg以上のものが粗大ごみとなる。</p> <p>委員： 高齢者世帯等が粗大ごみを持ち出すことができない場合、市の方で運び出しをしてくれるのか。</p> <p>市： 現在市では、運び出しをしていない。今後そのようなニーズは増えることが想定されるので、対応を検討していく。</p> <p>2. その他 北野余熱利用センター(あったかホール)条例の一部改正について報告</p> <p>(1) 北野清掃工場の停止に伴い、余熱がなくなるため、条例内の余熱に関する標記の削除</p> <p>(2) 令和 4 年 12 月末で施設内のお風呂と和室の廃止</p>
--	--

	<p>(3) 令和 4 年 10 月から施設の担当所管が資源循環部から環境部へ移管する</p> <p>容器包装プラスチックバールへの禁忌品の混入について報告</p> <p>市： 容器包装プラスチックのバール内にモバイルバッテリーが混入し、埼玉の工場にて発火。 大事には至らなかったが、今後小型充電式電池が取り外せない家電を有害ごみの日に出すよう広報やHPを活用して周知・啓発していく。</p> <p>次回のごみゼロ社会推進協議会の日程について</p> <p>市： 第 65 回協議会は、10 月 4 日(火)14:00 から八王子市役所本庁舎 8 階 803 会議室にて行う。</p>
--	--